

遊具の修繕に予算措置を 加藤鉦一議員が一般質問

鶴岡市議会9月定例会の一般質問で1日、加藤鉦一議員は「公園遊具の修理修繕」について取り上げました。



新町や和名川の公園のブランコなどや、こりす保育園のうんていはん登棒など具体的に質問しました。

叶野明美・藤島支所長は、「遊具のある公園は市内に127ヶ所あり、遊具の総数は約490基あるが、その7割近くが耐用年数を経過している。都市公園の遊具は、社会資本整備総合交付金を活用し順次更新しているが、農村公園や地域庁舎所管の公園は危険な物を撤去している。

藤島地域では今年度庁舎所管の修繕費で南部児童公園のブランコ、河川公園のシーソー、

『藤島地名風土記』を無料贈呈



青山崇 藤島地名風土記 2005年発行した標記本(130冊)を市民に贈呈したいとのこと

駅前児童公園のシーソーの計3基を修繕したい。こりす保育園については今年度、プールの修繕を優先した。保育園の遊具は1基50〜100万円と高額であり、市全体のバランスを考慮した更新計画になる」と答えました。

加藤鉦一議員は、「独

「『所用』欠席、少し寂しい」 を読んで

「所用欠席、少し寂しい」の読み手は、加藤鉦一議員。この文章は、山形新聞9月1日、太田榮市さんの「読者の声」が載った。7月県福祉大会、8月体育レク大会、いずれも県身体障害者福祉協会主催で開かれた。この団体は実質、県の身体障害者施策の実施機関で、福祉健康増

進は県政の重点事業でもあり、県知事、県議長が直接参加し重要性を力説してほしかった。しかし、いずれも代理出席で、雰囲気も異なるものがあつたという。そこで常用される「所用のため」である。太田さんは、せめてその内容を端的に知らせてもらえれば、参加者も納得できるのではないかと、とやや控えめに書いている。

新松屋・成沢靴店・東田川文化記念館・ヒロヤガソリンスタンドに置いてありますので、希望の方はお受けとってください。なお無くなり次第終了とのこと。です。



消防本部警防課によると、各町内会の消防半鐘は、防災無線があるので更新しないとのこと。しかし、半鐘は火災予防週間で鳴らすなど消防団の大切な象徴の一つです。

自の予算措置をするべきだ」と求めました。

庄内地方の凧文化 26

庄内の伝統凧「すみ凧」の謎に迫る(十)

鈴木隆(小中島)

前号で記したように、「すみ凧」の雲のような絵柄が邪鬼を払う上棟式の弓矢や船筆等の隅金具模様と類似するとの根拠を検証するため、平成6年、仙台市秋保温泉近くの「秋保工芸の里」を訪ねて、仙台筆筒熊野洞四代目に「すみ凧」の絵柄について見解を伺うことができた。



雲の様な模様は船筆筒の隅金具に用いられる唐草(別名ウマゴヤシ)模様にており、邪悪や災難を払い、中の大切な物を守る意味があることから、中央の赤い丸を守護していると考えられるとのことであった。

また、自然木加工の「ひらの工芸」の師匠によれば、雲に似た模様は神社仏閣の装飾彫刻や土蔵の出窓下の「もち送り」模様に類似しており、邪鬼を払う図柄と思われるとのコメントを得た。

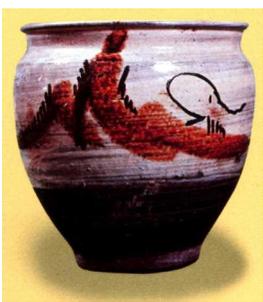
これらと庄内での聞き取り調査を合わせ考えると、加藤清正と何らかの関連がある凧の思いを強く抱き、平成7年3月、熊本を訪ね、熊本城の一角に鎮座する加藤神社の湯田栄弘名譽宮司(仰清正公)著者)を頼つたが生憎出張不在であった。後日、湯田氏からお



加藤清正

豊臣秀吉の近習、旗本として数々の戦いで手柄を立て、肥後(熊本)五十四万石の大名となった。

1611年、徳川家康と豊臣秀頼の二条城での会見に秀頼の付人として従い、熊本に帰る船中で発病、同年6月24日に没した(享年50歳)。



清正の骨壺(丸岡・天澤寺境内の地下から発見)

ある中国残留孤児の生涯④

新町 齋藤留治

母の祈りが救ってくれた私達の命

私達(Sさん)兄弟(終戦直後の私は8歳、弟は6歳)の母親は、まだ1歳になったばかりの幼子の命を奪ってしまつた落胆から日に日に衰弱し、私達兄弟の身を案じながら唐きび畑の中で帰らぬ人となつてしまいました。

私達はそのまま野宿を続けていましたが、ひもじさに耐えかねて物乞いに出て行きました。

その村には煉瓦工場(中国では家を煉瓦で作るのが普通、中国に行くにあちこちに赤レンガがゴロゴロ置かれていた。)が有り、働いていた人に「何か食べる物と着る物が欲しい。」とお願いをしたところ、従業員の方が工場の責任者を呼んでくれました。

責任者は王さんという方で、「幼い私達兄弟が何とか無事で」という母の祈りが天に通じたのか、王さんは開拓団と商売をしていたという事もあつて私達を覚えていたようでした。王さんは私達を自分の家に連れて行き、温かいご飯と服も準備をしてくれたので、私達兄弟は命をつなぐ事が出来ました。

満州の地に冬の訪れは早く、助けていただいていたから間もなく雪が降ってきたので、王さ

んに助けてもらわなかつたら私達兄弟はあのまま凍土の下に寂しく眠ってしまったと思います。

雪が降ってから間もなく、弟は知らない中国人に連れていかれ、私も中国人の鄭さんの家に養子として貰われて行く事になりました。貧しいながらも養父は善良な人で、私をとて優しく育ててくれました。

やがて冬が過ぎ、9歳になると私も家の手伝いとして羊の世話をしていましたが、11歳になって養父は私を小学校に入学させてくれました。

しかし待っていたのは「お前は日本人だ。日本のチビ鬼を打倒せよ」という虐めでした。

(先月NHKスペシヤ

対話を掲げる皆川おさむ 市長候補に期待

― 1 あらためて憲法を学ぶ 青山 崇

10月15日投票の鶴岡市長選に立候補予定の皆川さんは、「対話で鶴岡を元気に」をキャッ



善玉寺の親子地藏尊

ルで放送された「731部隊の真実」では罪も無い中国人を捕まえて日本軍が行つた人体実験、人体実験を指揮した人物は金沢大学かどつかのお偉いさんになったぞつた。こんな人間に居場所は無いと思うのだが。善玉寺の参道脇に、開拓団帰国者の皆さんによつて「親子地藏尊」が建てられている。碑には「…流浪抑留の間に愛する我が子を妻を亡くした心境はどんなに寂しいことでしょう」刻まれている。

チフリーズにしている。「対話」は普通、話し合うことと考えられている。

ところが、最近『対話する社会へ』(暉峻淑子著 岩波新書 2017年1月)を目にした。暉峻さんは数十年前『豊かさとは何か』を発行し評判になり、鶴岡でも講演会を開いた。私は衝撃を受けたことを鮮明に記憶している。

今回もそのようだ。

「対話は、人類が持つ特権の一つであり、(中略)人間と人間の間をつなぎ交流させ、個人を成長・発達させる場であつた対話」は「民主主義の培養土。」と言っている。

そう言えるのは、対話は、勝ち負けを決めるとか、異議を許さないという話し方でなく、対等な人間関係の中で、話が行き来しているうちに新しい事がらが生まれるという話し合い



解決は話し合いだ

なんだー。あれは。誰が考えた音なんだろうか。俺は朝仕事が一段落したところだつた方だつていたでしょうに。北朝鮮がブチャゲタとの知らせだつたんだがサ。キモジワリー音だつたぜ。なー。

▲世界の声に押されて 国務長官と国防長官が北と話し合う用意がある。との報道に、それじゃと思つていたどころさ共同訓練ナンテ始めるから、「なんだつて黙つていでらいね、何か態度で示さねば」と言う気持ちにはわかるがサ。これが対話ということじゃ困るんだワ。▲しかし、なんなんだよ。断りもなしに俺たちの頭の上を、物騒な物を飛ばすなんて。これはどんな言い訳もきかない絶対に許されないアクだぜ。

だからである。

8月20日「新つるおか」に共産党市議団実施のアンケート結果が載っている。市議に望むことは、市民の声を市政に届けるが55%とダントツである。市民の声をという心底には、対話を通して議員と共に練り上げて行くという気持ちが入められていることを銘記すべきである。皆川さんは、対話の持つ民主主義を重視しキャッチフレーズにしたのであろう。

▲「これは抗議の一発だ」と安倍さんに連絡すればその旨トランプさんに言うでしようから。陸には落とさなからネとなれば、そこまで腕は上がったと宣伝できるんだからサ。▲しかし、あんな音で「避難してください」と言われても何ができますか。何かできましたか。市役所に逃げたとかの報道があつたがサ。この節、逃げても逃げなくても変わらないでしようヨ。なにせ核があるんだから。▲こうならないようにするのが政治でしょう。国民の生命と財産を守るのが政治だと首相は判っているんですヨ。しかしNHKは、ただばし危険だ危険だ、と、危険を煽つていたでしょう。これが話し合いを否定している首相のネライじゃないですか。▲あの音。携帯に入つたですね。あなたの音もあつちに・ですよ。(石川)



対話で鶴岡を元気に 皆川おさむ minakawa osamu

対話を掲げる皆川おさむ氏